

関係団体・関係事業者ヒアリングのまとめ

1 ヒアリングの目的

狭山ニュータウン地区活性化で活動する関係団体や関係事業者に対してヒアリング調査を行い、活動状況を把握すると共に、地区活性化に向けた意見や提案を指針案に反映することを目的とする。

2 対象団体・事業者

分 類	団体・事業者名	実施日
関 係 団 体	民生委員児童委員協議会（ニュータウン連絡会）	平成 30 年（2018 年） 11 月 12 日（月）
	南中学校区円卓会議	11 月 19 日（月）
関係事業者	大阪府住宅まちづくり部住宅経営室	11 月 6 日（火）
	南海電気鉄道株式会社	11 月 6 日（火）
	市内不動産事業者	11 月 13 日（火）
	大阪狭山市商工会会員事業者	11 月 15 日（木）

3 ヒアリング項目

- ・ 各団体の活動内容
- ・ 活動上の課題等
- ・ 狭山ニュータウン地区の活性化に向けての意見、提案

4 ヒアリング結果のまとめ

	現状	課題	活性化に向けての意見、提案
民生委員児童委員協議会（ニュータウン連）	- 見守りが必要な高齢者の増により、十分な見守り活動が難しい - 地域ぐるみで子どもの見守り活動を行っている	- コミュニケーションを活発にする取組みを - 独居や高齢者のみの夫婦の生活を支えたい	- 敷地分割によって子育て世代の住宅確保を支援 - 子育て世代の近居ニーズに応える - 高齢者の買い物・通院の移動支援 - 自宅で暮らし続けるために健康寿命を延ばす取組み - 小学校区単位の団体間連携や協力体制づくり
南中学校区円卓会議	- コミュニティ活動を続けて設立10周年を迎える 主な取組みは 1 コミュニティカフェ 2 花いっぱい運動 3 元気ウォーキング 4 健康講座・元気クラブ 5 防犯パトロール	- 高齢化に伴う役員の人材不足、後継者不足 - 高齢化に伴う自治会退会や空き家の増加	- 空き家の敷地分割による子育て世代を呼び込み - 買い物や通院など高齢者の生活支援 - 小学校区単位のコミュニティ活動との連携 - 指針の具体化として情報発信の取組みや組織づくり
大阪府住宅まちづくり部住宅経営室	府営狭山住宅は低需要団地であり、集約が検討されるとともに、EV整備が進められている。	- 低需要の要因は老朽化、駅徒歩圏ではないこと、エレベーターの未整備 - 府営住宅再整備における福祉施設等の導入	- 大学と連携したストック活用の取組み - 狭山住宅の集約、余剰地発生は今後の課題（平成32年度以降）
南海電気鉄道株	- 南海鉄道の戦略として、選ばれる沿線づくり、不動産事業の深化・拡大 - 泉ヶ丘から狭山ニュータウン、金剛駅富田林地区を一つのエリアとして考えている	- 利便性向上や近居などのニーズに応える - 狭山ニュータウンの成熟した住環境の魅力で子育て世代を呼び込む	- 敷地分割により子育て世代を呼び込む - 近大病院移転後も循環バスと連携したバス交通の利便性の維持 - 狭山ニュータウンというブランドを高めるイベントの実施 - 子供たちが使いやすい公園の再整備 - 規制緩和と商業施設誘致
市内不動産事業者	路線価の低下が止まっておらず、府内第2位の低下となっている	民の力も使い、市場が期待する目に見える取組みが必要である	- ルールづくりで敷地分割の誘導と子育て世代の呼び込み - 中心ゾーン（陶器山通り）の再開発 - 近大病院跡における高齢者が住み続けるための施設誘致 - 陶器山や天野街道の緑のネットワークと市民農園の整備 - 指針を実現するための官民の組織づくり
大阪狭山市商工会会員事業者	- 住宅開発とともに商業施設は西山台から大野台へ移っていった - 大野台の空店舗はすぐに埋まる	- 敷地分割して売りに出ると子育て世代などの若い人が入る - 近大病院移転はバス交通の減便につながるのでは	近大病院跡地に住宅開発を